

第48回大分県緩和ケア研究会

はなちゃんのみそ汁とその後

2026 **8.29** (土) 13:30-16:20 開場13:00

J:COMホルトホール大分 3階大会議室

会員:無料 非会員/一般:500円 学生/高校生以下:無料

安武信吾さんによる特別講演



ドキュメンタリー映画上映会

弁当の日

はなちゃん親子の対談



特別講演 13:30~15:00

「あなたは子どもに何を遺せますか」安武信吾(映像作家)

ドキュメンタリー映画上映会 15:00~15:35

「弁当の日 『めんどくさい』は幸せへの近道」※34分版

監督 安武信吾

特別企画 15:45~16:20

安武さん・はなちゃんを囲んでの対談



家族の歩みとみそ汁

母親の千恵さんは、末期がんの闘病中に、一人娘のはなさんにみそ汁の作り方を教え、生きる力を伝えた。千恵さんが亡くなった後、5歳だったはなさんは毎朝みそ汁を作ることを日課とし、父親の信吾さんと共に生活を立て直した。

みそ汁づくり

幼いころから母親の教えを受け継ぎ、毎日みそ汁を作り続けている。

反抗期

中学生・高校生の頃には反抗期もあり、みそ汁づくりを嫌だと感じる時期があった。

父との関係

かつては父に喜んでもらいたい一心でみそ汁を作っていたが、反抗期には口をきかなくなることもあった。しかし、みそ汁が常に家族をつなぐ存在だった。

食への意識

幼いころから食について厳しく指導されたため、社会人になった今も食を粗末にしないよう意識し、体調を崩さずに生活できていることに両親に感謝している。

現在、信吾さんは、千恵さんが残した言葉をはなさんに伝えるため、ブログ「はなちゃんのみそ汁」を開設している。父娘は、悲しみも喜びも分かちあい、食卓を通してつながり続けている。